土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.3-西ノ谷川-補助基準点2	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 01.8188″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年 8月26日～ 令和4年 8月30日	東経	132° 33′ 14.6230″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 193.50m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	7.00m	地盤勾配	8° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-C / エンジン：ヤンマーNS12 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	192.90	0.60		粘土質砂		暗褐			砂は細～中砂を主体とする 径4cm以下の礫を少量混入する	
1	192.40	1.10		玉石		淡灰			花崗岩質　径100～150cm程度の転石	
2	191.10	2.40		粘土混じり砂		淡茶褐	rd3		砂は細～中砂を主体とする 細粒土分を10～20%含有する 径1cm以下の礫を少量混入する GL-2.15mからの標準貫入試験は玉石にあたりN=50回以上を測定する	
	190.60	2.90		玉石混じり砂		淡茶灰			径20～50cmの玉石が連続的に混在する	
3 4	188.80	4.70		粘土混じり礫混じり砂		暗茶灰	rd4		砂は中～粗砂を主体とする 径5cm以下の礫を20～30%混入する 部分的に径10cm程度の玉石が混入する	
5 6	187.50	6.00		玉石・礫混じり砂		淡茶灰	rd4		径50～100cmの転石が連続的に混在する 玉石間は径5cm以下の礫を混入する礫混じり砂である 砂は中～粗砂を主体とする GL-5.15mからの標準貫入試験は玉石にあたりN=50回以上を測定する	
7	186.50	7.00		礫混じり砂		淡茶灰	rd5		径3cm以下の礫を20～30%混入する GL-7.20m以深は風化土状を呈す	
8 9 10 11 12										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
12	1.25	4	4	4	12/300		
	1.55						
50以上	2.15	3	4	43/50	50/250	250	
	2.40						
45	3.15	11	18	16	45/300		
	3.45						
30	4.25	7	8	15	30/300		
	4.55						
50以上	5.15	50/70			50/70	70	
	5.22						
50以上	6.15	10	36	4/20	50/220	220	
	6.37						
50以上	7.15	21	29/90		50/190	190	
	7.34						

試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				8/26
				8/29
				8/30